

平成27年度〔小学校 視聴覚教育〕研究報告（1年目）

五戸町立五戸小学校 教諭 後村千香子

1. 研究主題 学習効果を高めるICT活用の工夫
～デジタル教科書の効果的な活用を通して～

2. 主題設定の理由

学習指導要領の総則では、「情報教育」及び「教科指導におけるICTの活用」の充実が述べられている。また、ICTを活用することにより、学習に対する児童の意欲が高まり、知識・理解の定着につながることは、様々な研究でその効果が検証されている。

本学級には、授業に集中できなかったり、学習の定着に時間がかかったりする子がいる。そのような児童にも「わかる・できる」授業をし、学ぶことの喜びを味わってほしいと願っている。そこで、各教科の授業において、視覚・聴覚に働きかけることができるデジタル教科書を、適切な場面で活用したいと考えた。そうすることで、「知りたい・学びたい」という学習効果を高め、児童が意欲的に学習するのではないかと考えるに至った。教師が授業のねらいを明確にし、どのような場面でどのようにデジタル教科書を活用するのかを追究することによって、児童の学習に向かう姿勢が向上し、学習効果がより高まるのではないかと考え、本主題を設定した。

3. 研究目標

授業において、デジタル教科書を活用することにより、学習効果を高め、基礎基本の確かな定着が図られることを、実践を通して明らかにする。

4. 研究仮説

適切な場面でデジタル教科書を使用することによって、学習に向かう姿勢が向上し、基礎基本の定着が図れるだろう。

5. 研究の内容・方法

- （1） 授業実践の記録や研究協議、事前・事後調査等を通して、デジタル教科書の活用が、児童の学習理解を高めることに有効であったかを検証する。
- （2） 単元の事前・事後を通した児童の意識調査を比較分析して、有効であったかを検証する。